

## ＜太白区中央市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

太白区中央市民センターが平成 25 年度から複数年かけて取り組んできた事業「市民企画会議 人情ながまち物語」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成 27 年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

平成 27 年度の「市民企画会議 人情ながまち物語」では、住民同士の交流と住みよい街を市民センターと協働でプロデュースしていただける方々を募集し、企画会議を行って参りました。

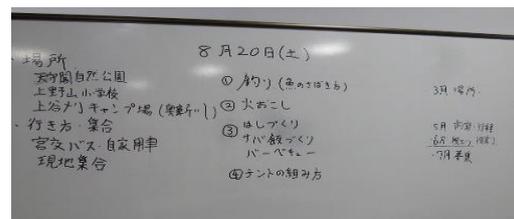
平成 26 年度は講座を企画したものの、講師の方の都合により中止という形になってしまい、残念な結果となってしまいましたが、企画員の方々の意欲は衰えず、活発に活動しております。

平成 27 年度は、当館に職場体験に来た地域の中学生にも企画員として参加してもらい、若い活発な意見を取り入れながら、企画の実現に向けて話し合いました。平成 27 年度中の企画講座実施は叶いませんでしたが、平成 28 年度の講座実施に向けて企画の内容等の調整をしておりますのでご期待ください。

### 中学生職場体験時の様子



### 企画会議の様子



## ＜生出市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

生出市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「生出物語～いにしえから現在、そして未来へ」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

### 生出物語～いにしえから現在、そして未来へ

生出地域は歴史的文化遺産と自然に恵まれた地域です。歴史をさかのぼること南北朝時代の資料には、生出地域が現れます。地域の方々は、そんな生出地域を知ってもらいたいと誇りを持って活動しています。

明治時代に日本三大模範村と言われたこの生出地域では、日中仕事で勉強できない村民のために、夜間「夜学」と銘打って勉強会が開催されていました。この事業では、当時と同じように「おいで夜学」という名前で夜間に座学を開催し、また、地域の長老の方の案内で生出地域の史跡等を探索したり、様々な方々からお話を伺ったり、地域の昔の様子を座談会形式で話していただき、大いに地域の掘り起こしにつながりました。また、その様子を受講生にビデオ撮影していただき、後世に伝承することができました。

この事業に参加した小学校教師の方は、学校の地域の学びの授業で子どもたちと大きなマップ作りをし、まつりで発表しました。

次年度は、各地域の探索を拡げて学びの成果をまとめられるようにしたいと思っています。



## ＜中田市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

中田市民センターが平成 25 年度から複数年かけて取り組んできた事業「中田の魅力探訪」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成 27 年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

当事業の受講生が、中田小学校の授業で中田地域の歴史や昔の様子を児童に話したり、質問に答えるなど地域の講師として活躍しています。

また、中田市民センター主催講座「父と子のいろいろ体験教室」では、農作物の収穫やそれらの野菜を生かした調理の指導なども行いました。

平成 27 年度から始まった地域力創造支援事業「つながる・ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト」は、柳生・西中田・中田・袋原・四郎丸地区の4町内会連合会連携での町おこし事業として、地元のお宝マップを制作していますが、「中田の魅力探訪」の受講生は、中田地区の活動の中心となって精力的に取り組んでいます。



## ＜西多賀市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

西多賀市民センターが平成 25 年度から複数年かけて取り組んできた事業「西多賀地域防災ネットワークづくり」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成 27 年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

西多賀市民センターでは、平成 25 年度より災害時の役割分担のために、日頃から顔の見える関係で、連携・協働できる地域防災ネットワークを作り、地域の各種団体との防災活動の底上げ・充実を図ることを目的に活動してきました。

平成 27 年度は町内会や子ども会が消防署や危機管理室と連携しながら、ゲームや遊びを通し防災や減災に対する知識の習得と体験活動を行いました。また、西多賀中学校を会場に町内会、学校、PTA、民生委員児童委員協議会、防災リーダー等（避難所運営委員会）が中心となり、避難所運営訓練を実施しました。地域住民が避難所の自主的運営を行うためのスキルを身に付けるとともに子供のころから、いざという時のための防災意識を高める機会となりました。



## ＜八本松市民センター＞の取組み【目標3-②】

八本松市民センターが平成26年度から複数年かけて取り組んできた事業「防災リーダー養成講座」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

八本松地域では地域の防災・震災対策として平成23年に「八本松地域防災サミット委員会」を立ち上げて、各種防災訓練を10月に継続して実施しており、地域の方々にも発災時の対応が定着してきています。

しかし、役割分担等を考えつつ、想定外の多くの出来事に臨機応変に対応できる人材の養成は継続的に必要であるため、リーダー養成を目的に平成26年度から、八本松連合町内会と連携しながら実施してきました。

今年度は、八本松地域合同防災訓練に向けて3回実施し、避難所の開設・運営について、仙台防災学習研究所所長の講話や各活動班の対応をシミュレーションするゲームで学び、消防署のご協力で防災実地訓練を行い、さらなるスキルアップを図りました。

10月17日（土）実施の訓練時には、学習内容をふまえて活躍されました。

### 活動イメージトレーニング【KIT(1)(2)】

避難所開設準備についてグループで学習中



発電機・炊飯セットなどの資機材の取扱いについてもあらためて確認しました



## ＜八木山市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

八木山市民センターが平成24年度から複数年かけて取り組んできた事業「探そう、作ろう、八木山新名物」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

地域の絆づくり推進事業「探そう、つくろう、八木山新名物」の参加者から「ベニエランドの壁面に絵を描いて渋滞中の車の中で楽しんでもらおう」というアイデアが生まれ、ベニエランドのブロック塀に絵を描くことが始まりました。地域の絆づくり推進事業は平成26年度で終了しましたが、平成28年度もブロック塀の壁面を守り育てていくために地域の小中学校の先生・学校支援地域本部の方と一緒に『地域の絆プロジェクト「ブロック塀に絵を描こう」』という講座を開催しました。地域の絆づくり推進事業に参加していた東北工業大学の学生や地域の水彩画サークルの方々も壁面を守り育てていこうということで積極的に協力をいただき、参加者は地域の小学生・職場体験の中学生・城南高校の学生など総勢44名でした。

まず、市民センターに集まり、下絵を作成し今まで書かれた壁面の写真を見ながらレイアウト。後日好天の中、ブロック塀に水性ペンキで絵を描きました。大学生は子どもたちが作業しやすいようにペンキの補充や壁面の空いているところに葉っぱを描き、絵のアドバイスもしました。水彩画サークルのメンバーは背景を描くことで子どもたちの絵に深みを与えてくれました。

とてもにぎやかで楽しくなったベニエランドの壁面ですが今後も毎年夏に絵の追



下絵作成中



ペンキで絵を描いています



動物や植物・八木山にある学校・病院・施設などが描かれています

## ＜山田市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

山田市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「ジュニア地域防災エキスパート養成講座」では、その関わった方々がまだ次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

平成25年度の「地域地震対処総合訓練」で、地域の山田鉤取日赤奉仕団の方が指導していた三角巾の救命救急法を中学生にも手伝ってもらえるのではないかとという提案からはじまった講座は、平成27年度で3年目となりました。山田中学校へチラシを配布し、講座の案内をした結果、1年生から3年生まで31名の申込みがあり、10月14日（水）13時30分から山田市民センターの和室で山田鉤取日赤奉仕団の方を講師として講習会を実施しました。この時学んだ中学生が、10月24日（土）に上野山小学校と山田中学校で同時開催された「山田鉤取地域防災訓練」で山田鉤取日赤奉仕団を手伝って、訓練に参加した中学生や地域の皆さんに三角巾の使用法の説明をしました。いざという時に役立つ貴重な技術を習得した中学生が、将来の地域防災の担い手として成長いくことが期待できる結果となりました。また、防災訓練に参加した地域の方からは、中学生が指導するということが好評で、山田鉤取日赤奉仕団との連携関係の確立につなげることができました。



10月14日（水）山田市民センターの和室で山田鉤取日赤奉仕団の方を講師として講習会を実施

10月24日（土）上野山小学校と山田中学校で同時開催された「山田鉤取地域防災訓練」では山田鉤取日赤奉仕団を手伝って、訓練に参加した中学生や地域の皆さんに三角巾の使用法の説明



## ＜茂庭台市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

茂庭台市民センターが平成26年度から複数年かけて取り組んできた事業「茂庭台案内人養成講座 もにわだいを歩き隊-M. A. T-」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

30年ほど前に造成された茂庭台団地。歴史的には新しい団地ですが、隣接する生田地区とともに歴史的に古い側面も持ちます。また、東に太白山を望み、北には萱ヶ崎山など多くの自然に囲まれた緑豊かな街です。この茂庭台地域の歴史や自然・地理について総合的に把握し、地域を再発見してもらう、また案内人として活動できる人材を養成することを目的として講座をすすめています。

平成26年度には、地域を自分の足で歩きまわり、現在の状況・歴史・自然等の情報収集を行いました。平成27年度には、情報の整理と追及さらなる情報収集を行いました。歴史について学んだり、地域の自然に触れ合い新しい魅力を発見したりと、楽しみながら、茂庭台地域をより知るために活動しました。また、今年度の「環境トレッキング」講座の中の一部で案内人が講座で学んだ内容をご案内するなど、その力を発揮しました。平成28年度にはさらに案内人として活躍することを目標にマップ作りに取りかかっています。



地域にある里山「水道山（茂庭台緑地）」を地域資源として紹介する為、歩き方や植物・樹木などの情報収集をしました。



マップ作りの為、地図を広げて皆さんで茂庭台についての様々な情報を出し合いました。



茂庭台地域の歴史について講話を聴きました。歴史的な建造物等は残っていませんが、歴史のお話で昔の情景を想像することが出来ました。



地域についていろいろ確認しながら歩きました。長く茂庭台に住みながらも新発見があるなど、参加者同士の会話も弾みました。

## ＜東中田市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

東中田市民センターが平成25年度から複数年かけて取り組んできた事業「語り手ボランティア養成講座」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

「語り手ボランティア養成講座」も3年目となり、語り手ボランティア「かっこ語りの会」は自分たちの学びに加えて、地域の伝説などを語り継ぐ活動の機会も増えました。

東中田児童館への「かっこおはなし会」も定期的に行われ、子どもたちが語りに親しむ機会となっています。

また、四郎丸小学校3年生の総合学習「地域のよさを見つけよう」のサポートとして地域にまつわる民話を取り入れた語りと実際の場所を見るフィールドワークを実施し、学習発表会への発表に向けて、さらに地域学習を深める関わりを持ちました。

子どもだけでなく、地域のおまつりや大人向けにも地域の歴史を伝えるなど、地域全体で地域愛を育む機会にもつながっています。

今後も、地域の史跡や地域に伝わる習慣等の学びを深め、活動の幅を広げていく予定です。



語り手ボランティア「かっこ語りの会」の活動の様子



## ＜柳生市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

柳生市民センターが平成 25 年度から複数年かけて取り組んできた事業「地域の魅力発見」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成 27 年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

3年目の集大成として、11月7日に、『柳生まるごと楽しみ公園』を開催しました。市民センター多目的ホールに大きな公園を作り、地域のみなさんと「魅力」をたっぷり楽しみました。

受講生のみなさんは、‘柳生まるごと楽しみ隊’として3つに分かれ、活動したことをもとにブースをつくりました。

【公園グループ】 クラフトコーナー（木のネームプレート・フォスター作りなど）  
むかし遊び、柳生地区の公園マップ掲示

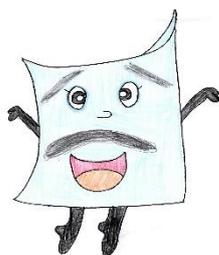
【和紙グループ】 手作り紙芝居「柳生和紙ものがたり」（21枚組）上演  
和紙作品の展示など

【食グループ】 「やなちゃん汁」（グループのオリジナルです）試食  
地域料理のレシピ集配布、野菜の重さ当てクイズ など

むかし遊びでは、「柳生南かやの木会」のご協力もいただきました。来場されたみなさんは、さまざまなかたちの地域の魅力を堪能していました。

そのほか【食グループ】は、主催講座『エフエムたいはくキッズ情報局』の地元野菜料理の講師としても活躍し、大きな力を発揮しました。

こうした取り組みを通して、地域のみなさんが力を発揮し、地域のつながりが深まり、ますます活躍ができるよう支えてまいりたいと考えております。



和紙じい



『柳生まるごと楽しみ公園』  
会場は大にぎわいでした。

## ＜秋保市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

秋保市民センターが平成24年度から複数年かけて取り組んできた事業「秋保地域資源活用委員会」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成27年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

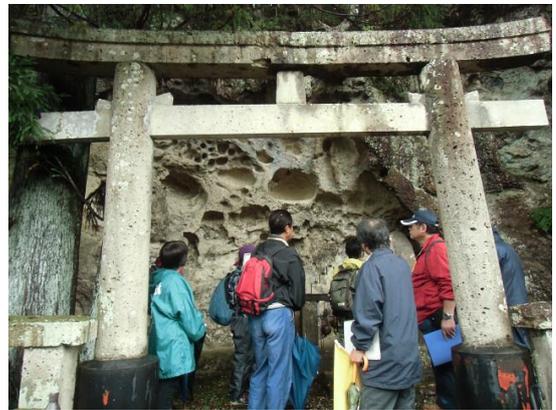
平成24年度から3カ年にわたり、秋保総合支所と連携し、「秋保地域資源活用委員会」事業を実施してきました。

平成27年度は、秋保を案内できるよう、委員会のメンバーが当センター主催の「ガイドボランティア養成講座」を受講しガイドについての知識を学び、実際に9月26日に実施した「いってみっぺ秋保路ウォーク」のガイド役として活躍しました。また、今まで資源調査をしてきた資料をもとに、あらたに6コースのパンフレットを作成しました。秋保で活動している団体・地域住民が集まり意見交換を行う「秋保地区地域活動のつどい」では、委員会の取り組みや作成したパンフレットを発表し、地域の方々に委員会を知ってもらう貴重な場となりました。

委員会の皆さんの活動が地域に根付き、ますます発展していけるよう、今後も支援してまいります。



「ガイド養成ボランティア講座」に参加し、北山ガイドボランティアさんにレクチャーを受けている様子です。



「いってみっぺ秋保路ウォーク」のガイド役を務めました。



今年度は、あらたに6コースのパンフレットを作成しました。



「秋保地区地域活動のつどい」で、委員会の活動内容や今年度作成したパンフレットの紹介をしました。

## ＜富沢市民センター＞の取組み〔目標3-②〕

富沢市民センターが平成 25 年度から複数年かけて取り組んできた事業「富沢アクティブエイジングサロン」では、その関わった方々が次のような活動に取り組み、地域でその力を発揮しています。

平成 27 年度の活動状況を中心にそのご報告をいたします。

富沢地域の課題として、町内会役員等の地域を支える次世代リーダーがないということがあげられています。富沢市民センターでは、自分自身の経験を活かしたボランティアや地域に貢献する活動を行う人材を育成することを目指して、平成 25 年度から複数年事業として取り組んでいます。

今年度は 12 名の運営委員と共に、震災後にクローズアップされた人と人とのつながりや地域でのつながりを大切に、地域の方々が気軽に集まれるサロンを企画しました。自分たちで地域講師をみつけてきたり、自らが進行役を引き受けたりしながら、コンサートやニュースポーツ、食育の講話等の講座を実施しました。また、その都度、反省会を開き、各々のスキルアップを図ってきました。この経験を活かし、メンバーの中には町内会やボランティア活動など少しずつ地域活動を始めた人も見られ、活動の幅が広がり始めています。



「癒しのオカリナコンサート」の様子



「made in 富沢の野菜で調理」の様子



「みんなで歌いましょう」の様子